

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表：令和 6 年5月 1日

事業所名：チャレンジキッズどんぐり

保護者等数（児童数）24

回収数24

割合100%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	1	1	・一人当たりの広さについては国の基準を満たしています。安全面では、チェックリストを活用し、職員が定期的に施設内を点検し確認、修復作業を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	0	1	4	・職員の配置人数は、もっと増やした方がいい。 ・専門性には問題ないと思う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	5	1	5	・建物が古いためバリアフリーなどの対策がされていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	5	2	0	・建物全体が薄暗く子供たちの気持ちが明るくなりづらいと思う。 ・雨漏りなど老朽化が目立つ、建物が古いため清潔と言えない。 ・広々としていていい。冬場の寒さが心配である。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	22	1	0	0	・保護者との面談や、相談支援センター等での利用計画作成やモニタリングを含め、本児の課題や保護者のニーズを客観的にとらえて作成しています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	1	0	1	・令和6年度から、5つの領域で偏らない本人支援が求められます。当事業所は、地域支援として専門機関との連携の密にして、また、就学への移行支援にも子供に応じて計画に盛り込んでいます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	22	0	0	1	・支援者は児発管と意見交換をしながら支援計画の作成に当たり、実践し、振り返り改善しながら支援に当たっています。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	17	3	0	3	・活動プログラムに工夫がされていると思う。活動の様子をノートなどに記載されているがすべての項目が書かれていないため不明である。

	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	3	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援が中心であるが異年齢児童との交流もあり良いと思う。 ・どんぐりでの交流会の会などがあるのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのお子さんが保育所や幼稚園等で過ごしているため、一般のお子さんとの交流は出来ていると考えております。どんぐり内での交流会・レクは実施しておりません。 職員は年に一回ほど保育所・幼稚園等に見学に行き交流を図り、利用児のケースに合わせて担任と情報交換を行っています。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が丁寧でわかりやすかった。 	
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19	4	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	13	2	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃の子育ての悩みや子供の上手な関わり方について、専門の方から助言を頂きながら保護者に伝えています。職員はペアレントトレーニングの研修を受けてスキルを学ぶ必要性を感じております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	19	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の様子を丁寧に伝えてくれ、今の子供に合わせた支援を行ってくれています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の付き添いがいない方は、連絡帳やラインなどで活動の状況等を伝え共有を図っています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談するとすぐに助言して頂けてありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方ともっと面談の機会を持ちたいと思っておりますが、定期的に時間を作り面談となると保護者の負担が増えないかと懸念しております。来所の際や電話などで相談を受けたときはその都度時間をとって行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	4	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会があるのかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母会はありません。又、会の設立等は予定しておりません。お伝えするのが遅くなり申し訳ありませんでした。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	0	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・体制は整備しており、利用契約の際に説明しております。意見箱は玄関に設置しております。申し込まれた方については、解決の意向や方法を確認し、迅速に対応し結果を伝えています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22	0	0	1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	3	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発行しているお便り等で、ご意見やご希望がありましたらお知らせください。又、今回の自己評価についてはホームページで公表しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	11	3	0	9		<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対応マニュアル、感染症対応マニュアルは作成済みです。火災や地震・消火等の自主訓練を放課後等デイを中心に毎月行い、消防署には計画書や実施報告書とその都度提出しております。避難場所は、岩内地域人材開発センターです。緊急連絡先のカードを保護者にお渡ししておりますが、想定した引き渡し訓練の実施や保護者への周知が不十分で今後

	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3	2	11	・訓練が行われているかわからない。	・発達支援では行っていません。短い利用時間内で実施する事が難しく、職員と放課後等デイで実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	23	0	0	0	・とても楽しみにしています。 ・たまに「行きたくない」と言う時もありました。	
	23	事業所の支援に満足しているか	23	0	0	0	・いつも通うのを楽しみにしている。子供が先生を好きな様子が伝わり、「自分（親）以外に見てくれる保護者」のように感じている。以前は悩んでいましたが、今年はそれほど心配する事がなく助かります。 ・親子共々成長させてもらいました。	ありがとうございます。皆様のご意見をもとに、改善できる点は改善していきたいと思ひます。ご協力ご理解の程宜しく願ひします。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。